## **EUROPEAN PATENT OFFICE**

## Patent Abstracts of Japan

**PUBLICATION NUMBER** 

52116360

**PUBLICATION DATE** 

29-09-77

**APPLICATION DATE** 

25-03-76

**APPLICATION NUMBER** 

51033286

APPLICANT:

MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD;

INVENTOR:

IMAI HIROZO;

INT.CL.

B26B 19/14

TITLE

**ROTARY ELECTRIC RAZOR** 

ABSTRACT:

PURPOSE: To make it possible to cut a beard introduced into a central portion of an outer edge of an electric razor, by revolving while rotating a inner edge body in which an inner edge is arranged over a range of larger radius than a radius of an outer edge by means of

a planet gear mechanism.

COPYRIGHT: (C)1977,JPO&Japio

## 19日本国特許庁

## 公開特許公報

①特許出願公開

昭52-116360

⑤Int. Cl².B 26 B 19/14

識別記号

69日本分類 125 G 321

庁内整理番号 6755-46 砂公開 昭和52年(1977)9月29日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全2頁)

69回転式電気カミソリ

②特

願 昭51-33286

**②**出

額 昭51(1976)3月25日

砂発 明

者 喜多正和

門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

你発明者 今井博三

門真市大字門真1048番地松下電

工株式会社内

仰出 願 人 松下電工株式会社

門真市大字門真1048番地

砂代 理 人 弁理士 竹元敏丸

外2名

切 軸 型

- 1. 発明の名称 幽転式電気カミソリ
- 2. 将作請水心恤出

上面に外为の半径以上の範囲に直って内为を記 取した内为総合の下面中心に、始数を異ならしめ た一対の始単を固定した回転軸を固定して内为体 を形成し、外別とモーター助にモーターの出力線 に改けた始単とポティの内島駒に設けた始単に回 転離の始単を建製贴合させ造量効単機器を形成セ しのて内为体を配設し、内为体の内为が外为内面 に改融して自転すると共に公転するようにしたこ とを特徴とする固転式電気カミソリ。

8. 完明心評報左說明

この発明は外方の中心部分のヒケ 収入れから 取入された ヒゲを切断できるようにした回転式 短気カミソリに関する。

回転式は気カミソリは一般化下面中心に数如样の 低台部を有する中形の内内基台の上面に複数個の 内別を放射状に配数した内別体を、外刃の内面に 内別を接触させて回動目在に配数した納成である ため、外別の中心部に内別と接触しない部分ができ、この外別の中心部に由入されたヒケが切断されない欠点があった。

本発明は上記したよった、外別 A の半径以上の 疑助に且って内別 1 を配放した内別作 B を遊戯物 取版解 O によって自転させや6公転するようにし

DE 1 57

たから、内別が外別の中心部内面にも接触して回転し、外別の中心部に導入されたヒケも切断される。

かように本始明によれは、外刃の中心部に導入 されたとグを切断することができ、ヒグ刺りスピートを向上できる効果がある。

- 4. 図面の船準を説明

図面は本発明の実施例を示するので、新1図は 新面図、新2図は製部の平面圏である。

主要な部分の行号配明

Aは外別、Aは内別体、1は内別、Aは回転軸、Uはモーター、6は出力軸、Dはボディ、G は遊島御車機構。

特許出額人

松下 瓦工 株 式 会 社 代理人并程士 竹 元 取 丸





